



みんなで育てる 未来のチカラ



これまでの様子

令和8年8月5日 「みんなで育てる 未来のチカラ」を開催！

今回は、愛知県教育委員会との合同開催ということもあり、学校関係者、PTA会員、民生児童委員、トワイライトスクール関係者、行政職員など、約150名の方と学び合いました。

意見交流：「学校と地域の連携・協働の現状と課題から見える可能性について」

参加者の皆さん同士で、情報交換をしました。

今回の研修会に参加した理由や、それぞれの地域で取り組んでいること、今後取り組む予定の活動などについて、伝え合いました。



講義：「これからの学校と地域の連携・協働の方向性と可能性について」

講師の志々田様より、「個別最適な学び」「多様性の包摂」の実現には、「地域とともにある学校づくり」と「学校を核とした地域づくり」の一体的推進が重要になってくることや、「自分の人生の舵取りをし、社会の中で多様な他者とともに生きる力」の成熟は、学校・家庭・地域での学び・体験の「総合結果」だということなどについて、参加者の皆さん同士での交流を交えながらお話をいただきました。



国立教育政策研究所
生涯学習政策研究部総括研究官
志々田 まなみ 様

シンポジウム：「地域づくりの未来を語る ～20年後の学校と地域の連携・協働のカタチ～」

はじめに、参加者の皆さんと考えることや、参加者の皆さんに考えてほしいことなどについて、シンポジストの皆さんからお話をいただきました。

つぎに、「20年後の学校と地域の連携・協働のカタチ」について、シンポジストの皆さんからお話をいただいたり、参加者の皆さんからの質問に、シンポジストから回答していただいたりしました。



【これからの学校と地域の連携・協働のカタチについて シンポジストの皆さんが提示したキーワード】

- ・ こどもまんなか
- ・ 人と人とのつながり
- ・ ワクワクする学校運営協議会
- ・ 学び合える関係づくり

【コーディネーター】

愛知教育大学名誉教授 大村 恵 様

【シンポジスト】

国立教育政策研究所生涯学習政策研究部 総括研究官

瀬戸市教育委員会学校教育課CS統括コーディネーター 文部科学省CSマイスター

豊橋市立八町小学校 校長

愛知県教育委員会あいちの学び推進課担当課長

志々田 まなみ 様

船坂 礼子 様

山本 武志 様

山本 宗雄 様



最後に、この研修で学んだことを紙に書いて、皆さんと共有しました！

アンケートでいただいた、みなさまからの声

- ・ 様々な人と関わりを持つことが子どもたちの豊かな学びや経験につながるということがわかりました。
- ・ 学校運営協議会で話し合わないといけないことを考えるのではなく、子どものため、学区・地域のためにやってみたいこと、やれそうなこと、やると楽しいだろうことを前提に、学校運営協議会を進めていきたいと感じました。
- ・ 「こどもまんなか」を意識したCSにしていけるために、CSで、育てたい子どもの姿を共有し、それを達成するための手段として地域と学校がつながるように意識したいです。
- ・ 多くの人とかかわることで、豊かな人生につながるということを再認識しました。子どもだけでなく、関わる大人も含めて、みんなでみんなの幸せにつながることであったらいいなと感じました。
- ・ 学校と地域の大人と子どもがともに学び、つながることができるCS・地域学校協働活動にしていくことが大切で、20年後は、ともに学び合う関係になると良いなと思いました。